



**DX認定**

大豊建設のDX



# (1) 企業経営の方向性及び情報処理技術の活用の方向性

◆デジタル技術が社会や自社の競争環境にどのような影響を及ぼすかについての認識

◆経営ビジョンを実現するためのビジネスモデルの方向性

■外部環境は今後も、複雑・曖昧・不確実に変動し、更に加速すると予想され、前中期経営計画期間中に生じた課題に加え、今後予測される課題や想定外の事象に対しても的確かつ迅速に対応できる企業への変貌が必要と認識。

■社会・競争環境の変化が当社のビジネスモデルの優位性に大きく影響するとの認識から、人的資本経営の強化と事業構造の変革を基本方針として、それを実現する投資戦略により目標の実現を目指す。

■デジタル技術及びデジタル技術を用いたデータ活用により、得意技術分野における無人化・省力化・高度化を図り、環境技術分野では新たな技術開発により、社会ニーズに応える良質な構築物を顧客に提供し続けることで、持続的な競争優位性と社会的価値を生み出す。

## (2) 企業経営及び情報処理技術の活用の具体的方策（戦略）

◆経営ビジョンやビジネスモデルを実現するための戦略

◆デジタル技術を用いたデータ活用

- 「人的資本経営の強化」「事業構造の変革」を基本方針として、それを実現する投資戦略により目標の実現を目指す。デジタル技術により、得意技術（基幹事業）の更なる拡大、新領域事業の創出・展開を図る。他企業との協業、戦略投資におけるM&A及び建設DXの推進等はその施策の具体的方策となる。
- 統合管理システムの構築により、工事・会計・労務管理を一元管理し、経営資源の可視化、管理データ収集分析・改善業務の標準化・効率化を図る。
- 建設DXの推進として、BIM/CIM、ICT、AI、5Gを活用し、施工管理業務の効率化、生産性向上、安全性向上を推進する。
- 建設データベースの構築と有効活用により、研修教育・人材育成業務の効率化、データの蓄積、ノウハウの継承を行う。
- 最終的にはこれらを統合したDaiho統合プラットフォームの構築を目指す。

## (2) ①戦略を効果的に進めるための体制及び人材育成

## (2) ②最新の情報処理技術を活用するための環境整備

### ①戦略を効果的に進めるための体制及び人材育成

2022年1月：経営企画部とDX推進統括部を新設、両部を傘下とする企画本部を新設。

2023年4月：情報システム課を部に格上げした上で、管理本部から企画本部に移設。

※DX推進に関する全社的な取組方針・体制を確立、DX推進統括部は2024年10月廃止、DX企画課を情報システム部傘下に変更。今後は実務的にDXを推進。

B I M / C I Mの普及・定着、I C T技術の研修・サポートによるI T人材育成。

基幹業務システム構築におけるシステム構築熟練者を通じたシステム人材の育成。

生成系A I活用システム開発における異業種情報交換、システム構築業者を通じたデジタル人材育成。

### ②最新の情報処理技術を活用するための環境整備

中期経営計画において、5年間で200億円の戦略投資を行い、その内、経営基盤強化関連（研究開発（シールド・ニューマチックケーソンなど）・DX）に60億円を投資する。

### (3) 戦略の達成状況に係る指標

#### ■ 得意技術の拡大

シールド・PCM工事 国内事業占有率：50%以上

#### ■ 新領域事業の創出・展開

2030年度 新領域事業売上高：200億円

#### ■ 4週8休の確保、時間外上限規制への適応

2024年度以降 達成率：100%



## (4) 実務執行統括責任者による効果的な戦略の推進等を図るために必要な情報発信

### ■戦略の推進状況、課題、今後の方向性等の情報発信

2021年12月：「組織変更および執行役員等の異動に関するお知らせ」 HP開示

2023年03月：「組織変更および執行役員等の異動に関するお知らせ」 HP開示

2023年05月：「中期経営計画 2023-27 年度」 HP開示

2023年06月：「中期経営計画 2023-27 年度」説明動画、「有価証券報告書」 HP開示

2023年11月：「2024年3月期 第2四半期決算説明資料」、「コーポレートレポート2023」 HP開示

2024年05月：「2024年3月期 決算説明資料」 HP開示

2024年06月：「有価証券報告書」 HP開示

## (5) 利用する情報処理システムにおける課題の把握

経営者の主導の下、デジタル技術に係る動向や自社のITシステムの現状を踏まえた課題の把握を「DX推進指標」により自己分析を実施。

### ■ DX推進のための経営のあり方、仕組み

ビジョンの共有、危機感とビジョン実現の必要性の共有、経営トップのコミットメント  
マインドセット・企業文化、推進・サポート体制、人材育成・確保、事業への落とし込み

### ■ DXを実現する上で基礎となるITシステムの構築

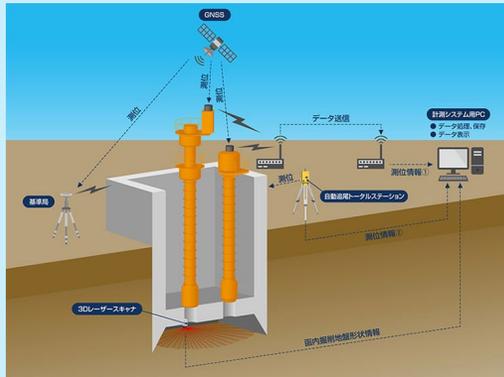
ビジョン実現の基礎としてのITシステムの構築、ガバナンス・体制

## (6) サイバーセキュリティに関する対策

- 「情報システム基本方針・情報セキュリティ対策指針」の制定・運用
- 「情報システム規程」「内部統制ガイドブック」の制定・運用
- IT資産管理ツールによる運用管理
- セキュリティ診断サービスによる外部不正侵入等に対する脆弱性調査・診断
- 情報セキュリティ教育の実施

## (7) 技術開発

### PCM沈下掘削管理システム



ニューマチックケーソンの高精度の沈下掘削管理を実現するため、掘削地盤形状自動計測システムとケーソン位置・姿勢自動計測システムから構成するニューマチックケーソン沈下掘削管理システムを開発しています。

### PCM掘削シュミレータ



ニューマチックケーソン工法における掘削機の操作体験と、訓練・指導に供することを主目的として掘削シミュレータ「Pneumatic Caisson Virtual simulator」を開発しました。

### シールドVR体験システム



ヘッドマウントディスプレイを装着することでシールド工法を実物大で体験することが可能なシールドVR（仮想現実）体験システムを開発しました。